

職務経歴書

2026年4月1日現在

氏名：小川 鉄

一職務経歴 概略一

1982年4月	松下電器産業(株)入社
1982年4月 ~ 1989年3月	同社 中央研究所
1989年4月 ~ 1990年3月	同社 ディスプレイ研究所
1990年4月 ~ 1993年3月	同社 液晶開発センター
1993年4月 ~ 2001年3月	同社 液晶事業部石川工場
2001年4月 ~ 2002年3月	同社 ディスプレイデバイス社LCD事業グループ
2002年4月 ~	東芝モバイルディスプレイテクノロジー(株)転籍
2002年4月 ~ 2009年3月	同社 モバイルユース事業部
2009年4月	東芝モバイルディスプレイ(株)転籍
2009年4月 ~ 2012年3月	同社 モバイルユース事業部
2012年4月	(株)ジャパンディスプレイ転籍
2012年4月 ~ 2018年3月	同社 モバイルユース事業部
2018年4月 ~ 2021年3月	同社 モバイルディスプレイカンパニー
2021年4月 ~ 2025年3月	同社 IFT事業部
2025年3月	(株)ジャパンディスプレイ退職

一職務経歴一

■2012年4月～2025年3月 (株)ジャパンディスプレイ

2010年2月 ～ 2015年11月 (5年9ヶ月)	アメリカ・サンノゼ技術駐在 ヴァイスプレジデント <ul style="list-style-type: none"> ・現地顧客技術サポート体制構築 ・重要顧客幹部との関係拡大と深化 <主な実績> <ul style="list-style-type: none"> ・北米ビジネスのさらなる発展・拡大 ・世界最高権威のディスプレイ国際学会(SID)の最高技術表彰委員会委員
2016年4月 ～ 2025年3月 (9年)	モバイルディスプレイカンパニー/IFT 事業部 ヴァイスプレジデント <ul style="list-style-type: none"> ・技術の顔としてアップル社技術サポートに特化し、iPhone用ディスプレイ継続受注 ・アップル社アップルウォッチ新規参入 <主な実績> <ul style="list-style-type: none"> ・iPhone用ディスプレイ累計8億27百万台納入 ・アップルウォッチ用ディスプレイ累計33百万台納入

■2002年4月～2012年3月 東芝松下ディスプレイテクノロジー(株)／東芝モバイルディスプレイ(株)

2004年4月 ～ 2007年3月 (3年)	モバイルユース事業部 海外担当応用技術部長 <ul style="list-style-type: none"> ・TFT-LCD、LTPS-LCDの技術プロモーション ・販路全世界拡大(欧州、米国、韓国、中国、台湾) ・アップル社初代iPhone参入による将来コアカスタマー獲得 <主な実績> <ul style="list-style-type: none"> ・モバイル主要顧客開拓(ソニーエリクソン、モトローラ、RIM、三星、LG ほか) ・世界のスマートフォンをリードするアップル社フラグシップモデル受注
2007年4月 ～ 2010年1月 (2年9ヶ月)	モバイルユース事業部 カスタマーソリューションエグゼクティブ <ul style="list-style-type: none"> ・モバイル事業技術の責任カスタマーウィンドウとして、重要顧客幹部と強固な関係構築 ・アップル社iPhone向けディスプレイ開発において、顧客と週次ミーティングを確立し、オン スケ開発の推進リード <主な実績> <ul style="list-style-type: none"> ・北米重要顧客(モトローラ、RIM)新規モデル受注拡大 ・アップル社iPhone用ディスプレイ継続受注による主力事業化 ・アップル社投資による生産ライン拡大(能美工場・白山工場)

■1982年4月～2002年3月 松下電器産業(株)

<p>1982年4月 ～ 1989年3月 (7年)</p>	<p>中央研究所 スタッフ～研究員(主任) ・a-SiTFT、液晶の応用開発を担当 ・光学・物性の評価解析 ・マルチギャップLCDの発明 ・空間光変調素子の研究開発 <主な実績> ・マルチギャップ LCD の特許および業界初ポケット液晶 TV の量産化貢献で、日本人初英国ランク賞受賞(1988年ロンドン王立物理学院) ・特許出願50件以上</p>
<p>1989年4月 ～ 2002年3月 (13年)</p>	<p>ディスプレイ研究所/液晶開発センター/液晶事業部/ディスプレイデバイス社 主事～参事(部長職) ・液晶プロジェクタ、モニター用ディスプレイ、反射型ディスプレイの開発 ・開発部課長を経てモバイルユースビジネスユニット総括(部下700名)として、開発～製造を担当 <主な実績> ・業界初反射型カラーSTN パネル量産(1997年) ・携帯電話用カラーディスプレイの量産で売り上げ拡大(2001年) ・論文発表:SID/MRS/SSDM/TV 学会/応用物理学会ほか多数 ・著書:「反射型カラー液晶ディスプレイ技術」、「フラットパネルディスプレイ」 ・講演:LCDインターナショナルほか多数の各種セミナー</p>

ー自己PRー

■グローバルスキル(プレゼンテーション・ディスカッション・関係構築力)

・研究所出身の高い技術力を生かし、技術プレゼン・プロモーションを通じて、顧客技術のキーパーソンと強固な関係を構築し、海外事業発展に貢献した。とりわけ、販売比率の高いアップル社の技術サポートを重視し、2014年以降は同社サポートに特化した。客先への技術プレゼンは、“Paasionate(熱意のある)”とアップル社現COOティム・クックに評して頂いた。

・ 아이폰4向けに FFS モードを新規提案するとともに、アイフォンに組み込んだデモ機を提出し、当時スティーブ・ジョブス CEO へのデモを果たし、採用されるに至った。プロジェクト推進中の課題発生時には決して逃げず、枕元に携帯を置いて寝て深夜2時の客先幹部からの電話にも対応するなど、ハードワークに徹した。時には通常入室不可能な顧客オフィスに入れて頂き、一人で幹部技術者達と技術議論を実施し、課題解決への熱意と本気度を示した。販売計画を死守するため、プロジェクトのオンスケ立ち上げに徹底的に拘り、顧客との週次ミーティングを確立し、それと連動した社内議論を推進し、オンスケ立ち上げを果たし続けた。

アップル社ディスプレイ部門技術トップの VP/JZ氏とはとりわけ深い繋がりを構築し、「友達」と呼んで頂いていた。

■企業様とともに取り組む技術プロモーション支援

・技術プロモーションに関して、企業様の価値、狙いなどを理解させて頂いたうえで、企業様といっしょになってプロモーション案の策定、準備、推進のお手伝いをさせて頂きたいと考えております。とくに、海外展開に関して、自身の経験を生かした有意義なご支援が出来るのではと思います。

以上